

三省堂小学校英語マガジン

ACE 教科書特集号

Act and Communicate in English

特集

お悩み解決します！

- お悩み 1 児童の主体性を育む
- お悩み 2 学んだことをしっかりと定着させる
- お悩み 3 もう評価には悩まない
- お悩み 4 英語を楽しむ





お悩み解決します！

2024年4月、小学校外国語科の教科書がはじめて改訂されます。CROWN Jr. では、今回の改訂に際して、先生方からよく寄せられているお悩みを解決するために、さまざまな工夫をしました。新しいCROWN Jr. では、先生方のお悩みをどのように解決できるのか、ナビゲーションキャラクターのポラリンが、編集委員の先生方にインタビューをおこないました。

先生方からよく聞くお悩み・質問

児童が主体的に学習に取り組んでくれません。

児童の英語力がなかなか定着しません。

見通しをもって指導をしたいのに、なかなかうまくいきません。

子どもたちが学習した表現をすぐに忘れてしまいます。

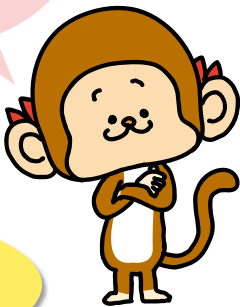
最後の発表へのつなげ方が難しいです。

p. 4 へ

p. 3 へ

CROWN Jr. の先生たちに相談してみようよ！

いろいろなお悩みがあるんだね。



モーナ



ポラリン



シュービル

パフォーマンステストはどうやって評価したらいいですか？

評価するタイミングが多くて大変です。

児童にもっと英語を楽しんでもらいたい。

テストの作成はあまり自信がありません。

英語で物語を読んだり聞いたりするのは難しそうです。

p. 5 へ

p. 6 へ

お悩み

1 児童の主体性を育む

学習指導要領では、児童に身につけさせるべき資質・能力のひとつとして、「主体的に学習に取り組む態度」、つまり、児童が「見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」ことがあげられています。CROWN Jr. ではそれをどのように実現しているのか、代表著者である酒井英樹先生に解説していただきました。



児童がなかなか主体的に学習に取り組んでくれないという声があります。



CROWN Jr. では、活動と活動のつながりがよりスムーズになるようにしたり、授業や単元の流れの「見える化」を図ったりして、児童の意識が途切れることなく目的意識や見通しをもって学ぶことができ、先生方が指導しやすい教科書であることを大切にしました。HOP → STEP → JUMP という Unit 構成を明確にし、学年ごとに設定された目標に向けて指導計画や評価計画を立てるバックワードデザインで教科書の構成を考えました。学年や Unit、Lesson での目標が明確に設定されているので、児童が主体的に意欲をもって学習に取り組むことができます。また、指導者にとっても安心して授業を進めることができます。

JUMPまでの見通しをもつよ。



学年の目標に向かって学びを積み重ねる構成になっているんですね。



はい。また、Unit 内の単元の構成についても、1 時間のメインとなる言語活動を設定しやすい活動の配置、Part を重ねるごとに使える語句や表現の増加が実感できる活動の設定、活動の話題の関連づけなどをおこないました。それぞれの Lesson や Unit が相互に関連しあっているので、スモールステップでスパイラルに英語力を高めるだけでなく、子ども自身も目的意識をもちながら、英語を使える実感を味わえるような構成になっています。



第1時	第2時
<p>Unit 1 名前を伝え合おう。</p> <p>Let's Watch 動画を見て、ミツウが言っている英語のワザに注意しよう。</p> <p>Let's Listen ワザを聞いて、ミツウが言っている英語のワザに注意しよう。</p> <p>① Nick Mick</p> <p>② Grace Ming Ming</p> <p>③ Tanya Tanya</p> <p>④ Jun Ryan Sakurako</p> <p>Let's Speak 自分の名前のワザを覚えてみよう。</p> <p>ABCDEF GHIJKL MNOPQRST UVWXYZ</p>	<p>Unit 1 名前を伝え合おう。</p> <p>Let's Play 名前のワザを覚えて、みんなでワザをしよう。</p> <p>① Kei My name is Kei.</p> <p>Let's Talk 自分の名前のワザを覚えて、自分の名前のワザに注意しよう。</p> <p>ABCDEF GHIJKL MNOPQRST UVWXYZ</p> <p>① My name is Tanya. Do you have a T? Yes. No.</p> <p>Let's Read & Write 名前をローマ字で書こう。</p> <p>My name is Yumi.</p> <p>My name is _____</p>

第1時の Goal

第2時の Goal

学年の流れだけでなく、Lessonの流れもとてもわかりやすく、子どもたちも安心して取り組みそうですね。



酒井英樹（さかい ひでき）

信州大学学術研究院教育学系教授。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語ワーキンググループ及び言語能力の向上のための特別チーム委員を務めた。小学校英語教育学会理事、日本児童英語教育学会理事。

Part に配置された Goal の例 5年 pp. 14-15

2 学んだことをしっかりと定着させる

外国語科では、たくさんの新しい英語の語句や表現を扱いますが、児童はそれらをすぐに忘れてしまい、学んだことがなかなか定着しないという悩みをよく聞きます。語句や表現の定着には、学んだことをくり返し使うことが大切です。CROWN Jr. では、どのように語句や表現の定着が図れるのか、小学校で実際に外国語科の指導をおこなっている石川雄一郎先生にうかがいました。

児童の英語力がなかなか定着しませんという悩みを聞きました。



子どもたちは、いま学んでいる語句や表現については一生懸命学習し、その場では一定使えるようになります。ただ、その Lesson が終わってしまうとすぐに忘れてしまい、学んだ語句や表現をどう活用するのかというところまではなかなか視点がいきません。つまり、学んだはずの語句や表現がなかなか定着しづらいということがあります。CROWN Jr. では子どもたちが学んだことをしっかりと定着させられる工夫があります。

どんな工夫がされているのですか？



HOP → STEP → JUMP の大単元構造で、HOP で Unit の学習を見通し、STEP で語句や表現を学習し、JUMP では STEP で学習した語句や表現を使った発表活動をおこないます。STEP で学んだ語句や表現を Unit 末の活動である JUMP でもう一度使う構造になっていますので、学んだ語句や表現をくり返し使うことができます。

なるほど。くり返し学習する工夫がされているんですね。



そうなんです！ それだけでなく、HOP で JUMP での活動を見通したうえで、STEP の学習に取り組む構造になっていますので、子どもたちが「この表現は JUMP で使えそう」「前の Lesson で学んだ表現と、いま学んでいる表現を組み合わせたら、JUMP でよい発表ができそうだ」などと、見通しをもって学習に取り組むことができますし、その結果、指導者も授業がしやすくなります。

子どもたちが見通しをもったうえで、積極的に語句や表現を学び、それをくり返し使う構成になっていて、しっかりと定着が図れそうですね。



たしかめよう 英語でどんなことが伝えられるようになったかな。確認しよう。自己紹介で使えそうな表現はありますか。

JUMP の「たしかめよう」では、それまでに学習した表現をふりかえります。
5年 p. 34

石川雄一郎(いしかわ ゆういちろう)

神奈川県海老名市立今泉小学校総括教諭。教務担当と外国語専科を兼務しつつ、英語授業研究会等で実践発表をおこなう。研究テーマは「小学校教員がする外国語教育と学級担任への研修」。令和2年度「他教科等の指導法を転用した外国語授業」で ELEC 英語教育賞を受賞。

お悩み 3 もう評価には悩まない

外国語が教科となったことで、先生方がとくに悩まれたのは、どのように評価すればよいのか、評価するにあたり、どのように指導をおこなえばよいのか、など、評価に関することだったのではないのでしょうか。小学校英語教育の指導と評価に詳しい大田亜紀先生に、CROWN Jr. での評価についてうかがいました。



指導と評価の一体化に悩んでいる先生も多いようです。



CROWN Jr. の特長である大単元構造により、児童が JUMP というゴールに向かって目的意識が途切れないように活動が設計されています。目標がはっきり示されており、JUMP は学んできた語句や表現を実際に活用できる大きな舞台と言えます。ゴールに向かう言語活動の過程で、子どもたちの学習状況を的確に捉える評価やその評価結果を改善に生かす際の指導のポイントもわかりやすく解説が示されています。



いつどのように評価をすればよいのでしょうか？



記録に残す評価は、十分に指導をした後におこなうものです。CROWN Jr. ではSTEPで長い目でしっかりと指導をおこない、児童の力が十分に伸びたところでJUMPで評価する構成になっています。評価のタイミングを厳選していますので、評価に追われることのないように配慮されています。



評価にあたってのサポートなどはありますか？



ありますよ！ Lesson末におこなう主に知識・技能の習熟を確認するものと、Unit末におこなう主にパフォーマンステストで測れない「聞くこと」の思考・判断・表現の習熟度を確認するものの2種類のテストを用意しています。テスト作成の経験があまり多くない先生も安心して評価をおこなうことができます。

チェックタイム

英語 CROWN Jr. 5年 Unit 1 チェックタイム

1. 人の小まめが、自分の誕生日を覚えていて、誰か聞いて、覚えてくれたお礼に、() に番号を書きましょう。

2. ニップたちが国名をたずねています。音声聞いて、それぞれの国名を覚えてください。

3. 絵を見て、内題に合う番号をひいてください。

チャレンジタイム

英語 CROWN Jr. 5年 Unit 1 チャレンジタイム

1. 国名を聞いて番号を書きましょう。その人の小まめが、誰か聞いて、覚えてくれたお礼に、() に番号を書きましょう。

2. 国名を聞いて、誰か聞いて、覚えてくれたお礼に、() に番号を書きましょう。

JUMPで評価します。

大田亜紀(おおた・あき)
 別府大学短期大学部初等教育科教授。福岡県公立小学校教諭、福岡県教育センター指導主事、公立小学校教頭を経て現職。小学校英語教育学会理事、日本児童英語教育学会理事。

単に教科書のレッスンを通して語句や表現を教えるだけではなく、児童がもっと英語に親しみ、英語を楽しむことができるようにしたい、と考えていらっしゃる先生方も少なくないのではないのでしょうか。CROWN Jr. では、児童が英語を楽しむことができる機会のひとつとして、Story Time を用意しています。ストーリーテリングを長年実践されてきた田縁真弓先生に、Story Time の紹介をしていただきました。

もっと英語の楽しさを幅広く味わってみたいのですが、なかなかそこまで手が回りません。



CROWN Jr. の Story Time には2つのコーナーが入っていて、「ケンの冒険」では「読むこと」、「世界のおはなし」では「聞くこと」を通して物語を楽しめます。

物語が入っているんですね。楽しそうですね。どんな物語なのですか？



「ケンの冒険」は小学生のケンとロボットのパムの時空を超えた出会いから別れまでを描いたオリジナルストーリーになります。2学年を通して物語が進んでいく構成になっていますので、児童のワクワク感を維持させることができます。「世界のおはなし」は、「北風と太陽」「ガリバー旅行記」などの児童がよく知っている世界の物語を絵を見ながら聞く活動をおこないます。

物語を読んだり聞いたりするのは難しそうです。



大丈夫です！「ケンの冒険」は、学習した語句や表現で英文が構成されており、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認をすることで、児童が「読めた！」という達成感を得ることができます。これは、中学校や高校で身につけたい読みの力へのモチベーションを高めることにもつながります。「世界のおはなし」では、児童がよく知っている物語を選定していることに加え、聞いて物語を理解するための助けとして、6コマのイラストを用意しています。場面や状況、わかる語句などをヒントに物語の内容を推測しながら聞く活動を通して、実際のコミュニケーションに生きる力を養うことができます。

楽しいだけでなく、今後の英語学習や実際のコミュニケーションに生きる力までつけることができるんですね！



Story Time

1. 英語に合う絵を選びましょう。

① Ken ② Pam ③ ball

2. パンとパムの会話の様子に合う絵を選びましょう。

5年 pp. 78-79

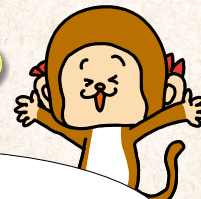
田縁真弓(たぶち・まゆみ)

京都光華女子大学教授。ストーリーテリングや絵本指導のワークショップをおこなう。「小学校で英語を教えるためのミニマムエッセンシャルズ」「だれでもできる英語の音と文字の指導」(共著、三省堂)

CROWN Jr. でお悩み解決！



先生方のお悩みを CROWN Jr. ではどのように解決できるのか、まとめました。



児童がなかなか主体的に学習に取り組んでくれません。

●目標を明確に設定

学年、Unit、Lesson の目標を、それぞれ児童にもわかりやすいように明確に設定して提示しています。

●目標に向かって学びを積み重ねる構成

見通しをもちながら、目標に向かって学びを積み重ねる構成になっています。児童自身が目的意識をもちながら、英語を使える実感を味わえるようにしています。

児童の英語力がなかなか定着しません。

●学んだ語句や表現をくり返し使う教科書構成

HOP → STEP → JUMP の大単元構造になっています。STEP (Lesson) で学んだ語句や表現をもう一度使う機会を Unit 末の JUMP に設定しています。

●見通しをもって学習に取り組めるしくみ

HOP で JUMP での活動を見通したうえで、STEP の学習に取り組む構成になっています。児童が、学んだ表現や語句を JUMP でどのように活用するかを考えながら、学習に取り組むことができます。

いつ、どのように評価をすればよいのでしょうか。

●年に3回の JUMP でのパフォーマンス評価

主な評価のタイミングを Unit 末の JUMP に厳選しました。STEP で十分な指導をおこない、児童の力が伸びた JUMP でパフォーマンス評価をおこないます。

●テストも用意

知識・技能の習熟を確認するチェックタイム (Lesson 末テスト) と、「聞くこと」の思考・判断・表現と「書くこと」の知識・技能の習熟度を確認するチャレンジタイム (Unit 末テスト) の2種類のテストを用意しています。

児童にもっと英語の楽しさを幅広く味わってほしいです。

●慣れ親しんだ語句や表現で構成されたオリジナルストーリーを読む

十分に音声で慣れ親しんだ語句や表現で構成された物語を読むことで、児童が「読めた！」という達成感を得ることができるようにしました。

●よく知っているお話を聞く

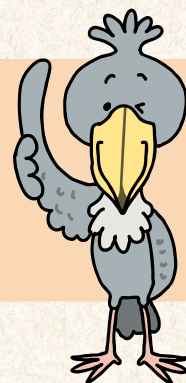
イソップ寓話など、児童もよく知っている世界のお話を、イラストをたよりに聞く活動を用意しました。内容を推測しながら聞く活動は、実際のコミュニケーションに生きる力につながります。



令和6年度版 小学校英語教科書内容解説資料

CROWN Jr. では上記以外にもさまざまな工夫をしています。

詳しくは、「令和6年度版 小学校英語教科書内容解説資料」をご覧ください。



教科書準拠のオンライン英会話サービス
教室から、
世界中の講師とつながる。

SPTR
FOR SCHOOL EDUCATION



教科書準拠プログラム
スパトレオリジナル 導入校拡大中!

教科書準拠

レベルの高い講師陣による、
個別最適化されたレッスンを、教科書に
沿った内容で受講できます。



先生方のご負担軽減

予約は7日前まで。
簡単に授業導入可能。授業後、
5段階評価を付与します。



4技能5領域をバランスよく習得

ただ話す体験にとどまらず、
「読む」「書く」「聞く」「話す[やり取り]」
「話す[発表]」をバランスよく
鍛えることができます。



自信がつく

楽しみながら、英語を使った
コミュニケーションをとる自信をつける
ことができます。



SP スパトレ株式会社
TR <https://school.sptr.jp/>

価格、サービスの詳細は下記の弊社連絡先、または
お近くの弊社担当者までお問い合わせください。

1人1台端末、ICTの利活用もCROWN Jr.で!

AIがスピーキングを自動採点!! 英語の学びを総合的に支援!!



ELST[®] Elementary

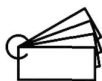
小学校英語 総合対策アプリ

令和6年度

CROWN Jr. 5 6 準拠

おもな機能 ▶▶▶▶▶

単語



「正しい発音を聞く・真似て発音す
る・書く」のサイクルを通して、
語彙を定着させる学習ができます。

会話



あいさつや質問への返答など、さま
ざまな場面に合わせた会話表現を
学ぶことができます。

英検対策



画面に面接官が登場し、実際の面
接形式に沿って、練習に取り組む
ことができます。

サービス提供:  株式会社サインウェーブ <https://www.sinewave.co.jp/>

価格、サービスの詳細は下記の弊社連絡先、または
お近くの弊社担当者までお問い合わせください。

上記のサービスについて、令和6年度版教科書に関連する内容は、いずれも開発中です。予告なく変更となる可能性があります。

三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

▶▶▶ ICT実践事例紹介・授業レポートプラス 公開中!



三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麴町5-7-2 電話 03-3230-9411

■大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 電話 06-6341-2177

■九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 電話 092-531-1531